

第93回メーデーアピール

新型コロナウイルスとたたかう中で、私たちは第93回千葉県中央メーデーを迎えました。一刻も早いコロナ感染の収束のためにも、職場・地域からたたかいを強めていきましょう。

すべての労働者・県民のみなさん

新型コロナウイルス感染拡大の第7波が到来するなかで、千葉県では累計3600を超える事業所が閉鎖され、4000人の解雇見込み労働者が発生しています。県内の多くの労働者にコロナによる甚大な影響が出ています。

千葉労連に寄せられる労働相談は、近年パワハラ相談が激増しています。コロナの影響で売り上げの低下などにより職場全体に余裕がなくなり、労働者間での助け合いがされず、ギスギスした雰囲気広がっています。労働者が働きがいをもてる労働環境を作り、メーデーの起源でもある「1日8時間働けば暮らしていける社会」を実現するため、声をあげましょう。

すべての労働者・県民のみなさん

改憲勢力はロシアのウクライナ侵攻という惨事に便乗して、国連や憲法9条を「無力だ」などと攻撃したり、日本の軍事増強や核兵器保有を主張しています。安倍元首相や日本維新の会などは、日本がアメリカと核兵器を「共有」する議論をするべきだと言っています。岸田首相は、日本の「敵基地攻撃」能力保有を検討すると言い、史上最高額の軍事予算を組んでいます。憲法9条を改憲する自民党の狙いは、海外で自由に戦争ができるようにすることです。これらは結局、「力には力を」「核兵器には核兵器を」というものであり、プーチンと同じ立場ではないでしょうか。

国連憲章は、「武力による威嚇」「武力の行使」を明確に禁じています。日本の憲法9条は、この国連憲章の上に、さらに戦争のための「戦力」を保持しないことを明確にして、世界平和の先頭に立つ決意をのべています。この国連憲章を厳密に守る世界を築いていくこと、憲法9条を持つ日本がその先頭に立つことこそが、いま必要なことです。

すべての労働者・県民のみなさん

コロナにより深刻な打撃を受けた地域経済と生業、県民のいのちと暮らしを回復させ、中小商工業者・小規模業者への倒産・廃業を防ぐために、政府に声をあげましょう。国民の生活保障と、大幅に下降する日本経済を立て直すためには、しっかりとした財源が必要です。今こそ400兆円を超える大企業の内部留保を活用し、労働者の雇用維持や中小企業の営業を守っていくこと。そしてただちに消費税を減税させることが必要です。

1日8時間働けば暮らしていける社会の実現、全国一律最賃1500円を実現するためにも、野党共闘を大きく発展させることが必要です。世界の労働者のたたかいと響きあい、貧困と格差の解消、持続可能な社会、戦争のない平和な世界めざし、働く者の手で、未来をつくりだすために。

働くものの団結万歳！ 第93回メーデー万歳！

2022年5月1日

第93回千葉県中央メーデー実行委員会